



写真「天王森の田植え後田んぼに夕日」（中央の遠くの建物等は、湘南台です）

《夏を迎えて》

盛夏も間近、首都圏では7週間続いた非常事態から段階的に平常を取り戻そうとしています。その間、私たちは多くの犠牲を払いましたが互いに勇気づけ合うことの大切さにも触れることができました。

当公園でも人気の行事をすべて中止し、泉館の閉館という非常措置をとらざるを得なかったことは痛恨の想いと共に深く記憶に刻まれています。

そうした状況にも関わらず、天王森の緑環境を求め来園された方々がそれぞれに柔らかな表情で園内を散策されている姿を目にするにつけ、私たち関係者一同、どれだけ励まされてきたことでしょうか。今、こうして目に焼き付いた情景を思い返すことができます。

同時に天王森泉公園という場所が、こうして来園された方々の免疫力アップに少しでも貢献できたのであればこれに勝るものはありません。通信7月号では、非常事態において見えてきた天王森の魅力を皆様にお届けしたい、そのような思いを込めお届けします。どうぞ手にとってご覧ください。

運営委員会会長 池原 正

「野の花会」は 外に出て森林浴を しながら体を動かし 社会とつながる



泉館の裏庭にある「野の花苑」は古民家に合う野草の庭として、最近やっと皆様に知られるようになりました。15年前はドクダミと雑草だけの庭でしたが、ボランティアの皆さんが、長いことかけて手入れをして、200種類以上の植物が育つようになりました。

野の花会は、毎週金曜日9:30~11:30の間、森の息吹を感じながら季節を追って、花の植栽・雑草取り・庭木の剪定・落ち葉かき・堆肥づくりと働いています。

最近増えた野草の好きな方、写真を撮る方などリピーターのお客様の声も励みになっています。

この仕事の他に、くわくわ森に自生する植物の調査と手入れも年に数回行っています。

長年続けていると、絶滅危惧種に入っていたキンランなどが増えていくのが目に見えてわかり、活動の原動力になります。

外に出て森林浴をしながら体を動かし、少しおしゃべりをして社会とつながる、これは元気で過ごせる最高のボランティア活動です、皆様の参加をお待ちしています。 野の花会 山本 登久

天王森泉公園行事カレンダー
(予定) 詳細はホームページ
を参照ください。

「七夕飾り」7月7日(火)まで
竹林の竹を使って七夕かざり
短冊飾りつけ

中止「木・竹材活用大人の工作体験」
7月19日(日) 参加予約制
手先の古い(いにしえ)体験

中止「水辺で遊ぼう生き物観察会」
8月2日(日)
和泉川など水辺の生き物観察

中止「夏休み工作教室」
8月16日(日)
小学生対象 夏休み工作体験

中止「かかしコンテスト&展示」
8月30日(日)~9月27日(日)
地域連合会との共催イベント

「古民家ライブ&野点」
9月21日(祝・月) 14:00~
古来の文化の伝授と館ライブ

「稲刈り体験」10月17日(土)
小学生以下、9:30~12:00

「新そば打ちまつり」10月25日(日)
そば打ち有志が奉仕する新そば

「天王森まつり」11月15日(日)
公園開園記念行事
天王森鍋・焼き芋・野菜直売など

「天王森餅つき」12月6日(日)
公園前の田んぼで体験者とボランティ
アが育てたもち米の収穫祭

「春の七草竹鉢作り」12月20日(日)
春を飾る七草に触れ、文化を体験

天王森泉公園のホームページ
<https://www.tennoumori.net>



天王森泉公園

※本年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、公園行事の中止及び内容を変更する場合がございます。

私のボランティア活動の紹介



芽吹く力あふれる若葉が春を告げる頃、周辺を散策途中になにげなく天王森泉公園に立ち寄ったことがきっかけでボランティア活動を始めました。主に田んぼでの稲作や園内の木々の手入れなどをベテランボランティアと共に週1回程度、わいわい楽しく活動しています。遠景の山々をはじめ、新緑の澄み切った空気感や、こんこんと湧き出る泉の心地よい透明感に触れ、たくさんのエネルギーをもらっています。そんな非日常を皆様も一緒に体験してみませんか。 by:清本

チョウが飛ぶ公園を目指して

夏の天王森泉公園は、森の樹木の間をクロアゲハモンキアゲハ、カラスアゲハなど、黒い色をした大型のチョウがよく飛んでいます。幼虫が食べる食草のカラスザンショウやサンショウが森の中にあるからです。

同じ大型で黒いチョウのジャコウアゲハは食草が違います。幼虫はウマノスズクサ（毒草）の毒を体に取り込み天敵から身を守っています。

野の花苑ではウマノスズクサを育て、ジャコウアゲハが卵を産めるように手助けしています。ただこのチョウは年に3回産卵するので、あっという間に餌を食べ尽くします。毎年ウマノスズクサが増えるようにと手入れをしています。 by:風露草



【ジャコウアゲハ♀】



【ジャコウアゲハ♂】



【ウマノスズクサ】(実が馬につける鈴に似ているため)

活動に興味がある方、お声がけください

コロナ禍の日々、公園でボランティア活動をしていると、様々な人から声を掛けられます。「この建物(館)はどういう由来があるのですか?」「この花の名前は?」「近くにこんな所があるなんて知りませんでした」等。出かけられる場所が制限され、普通ならやって来ない人達が公園を訪れ興味を持ってくれたようです。遠くまで行かなくてもこんな近くに自然に溢れた所があるのです。そして、心地良い汗を流せる場所があるのです。ボランティア活動に参加してみたい方、お声掛け下さい。 by:池原恭子

こんな体感いかがですか?



■竹林の景観と存在感

パワースポットでリラックス!

新竹の成長も落ち着き、竹の秋から竹の春へ成長続けています。

竹の秋=「竹秋」は晩春の季語

竹林イメージに緑のトンネル・清涼・風情・パワースポットなど

清涼感・涼風が身を清める?そんな体感如何ですか?



■そば打ち同好会 ご案内

素人軍団の蕎麦打ち同好会です。基本は素直に受け入れ、仕種・

パフォーマンス自由、手前の美味しいそばづくりに鋭意挑戦です。

あなたにもできます。お声をおかけください。



■キノコ栽培苑は これからの勝負!

原木シイタケ:夏場の管理で左右されるキノコ軍団

こぼれ陽・日光遮断・散水・天地返しなど、見回り手の差し延べにより秋の収穫に響きます。

食べて免疫力UP!:コロナに喝・活・勝!

by:大西

天王森泉館利用案内

開館時間: 午前9時~午後5時

休館日: 毎月第2・4火曜日(祝日は翌日)

年末・年始(12月29~1月3日)

問合せ先: 天王森泉公園事務局 045-804-5133

館内施設の利用: 利用日の2ヶ月前より申込受付